

石井としひろの「館山市政かわら版」

(平成30年5月13日発行)

館山市議会議員

敏 宏



財政危機と平成30年度予算

1、議員にとって財政は重要

議員には以下の2つの資質が必要だと思います。

- (1) 福祉・建設・経済など個々の課題に対応すること。
- (2) 市の経営陣の1人として、館山市が未来も存続していくように健全な財務状況(財政)を保つこと。

ところが、議員は課題に対応はしても、財政に弱いという性質が見られます。獲得すれば有権者からほめられる予算の要望はしても、削減すれば有権者から怒りを買う予算の減額には逃げたくなりがちで、これは全国的に見られる傾向です。しかし、財政から逃げては市が破綻するだけです。今後は議会として、財政には重点的に取り組んでいく必要があります。

2、財政が悪い、いやもっと悪い？

①長期的な財政推計が1年で大きく改善??

一昨年の秋に配られた20年間の長期財政推計を私が見たところ、年にして約8億円の収支赤字がありました。ところが、昨年秋に配られたものでは、約4億円になっていました。1年間で改善した事もありますが、劇的に財政が変化するわけがありませんから、前回のものは暫定的で不正確なものだったので訂正したという建前になります。

どの数値が変わったのかチェックしたところ、色々微調整されているわけですが、大きなところでは、道路・学校・公民館など公共施設の改修費用である「投資的経費」が約4億円も減っていました。

この投資的経費については、私が見る限り前回の推計の方が妥当だと思います。今までより減るところか、これからは過去にたくさん作った施設の老朽化対策がずっと続くわけですから、増える可能性すらあります。つまり現在、市が発表している財政状況よりも実態は悪い可能性があるわけです。

②いずれにしても財政危機なので対策が重要

推計の妥当性については今後も検証していきますが、財政が悪い、いやもっと悪いという議論ばかりしていても仕方がなく、大事なはその対策です。

さて、市はこれから5年間の行財政改革方針を発表しました。この方針を見ると、5年間で約4億円の収支を改善するとしています。ざっくり、収入で2億増やし、支出で2億削るとなっています。収入増加の見込みのうち、既にふるさと納税は約1億円の収入を上げていますので、課題は残りの約3億円となります。しかし、具体的な方法は、これから研究するとか、先送りして2年後からとかなっているの、実際に達成できるのか怪しい話です。

2、行財政改革方針に足りないもの

①身を切らない改革。議員給与は聖域か。

まず、議員の身を切る改革がありません。昨年4月から市

職員は5%以下の給与削減を行っていますが、議員の給与は削減を行っていません。

おかしな話なので、昨年「議員も5%削減すべき」と主張しましたが、なぜか賛同者がゼロで削減案は否決されてしまい、そのままになっています。

ちなみに、全国の地方議会の多くは人事院勧告に準じて、期末手当(ボーナス)の値上げを4年連続で行っていますが、館山市議会では昨年からの2年間値上げを見送るという最低限の良識を見せています。ただ、その前の2年間は値上げをしていましたが、私はその時も値上げに反対しています。

②大型公共事業はスルー(でもやらなそう)

青柳大賀線計画など新規の大型公共事業計画は聖域なのか言及がありません。ただ、私が「新規大型公共事業は控えるべき」という主張をしたところ、市からは「新たな行財政改革方針の5年間は、そうした事業を行うお金はない」という回答がありました。また、5年以降の財政推計を見ても、大型公共事業は「投資的経費」になりますが、ギリギリまで削られており、こうした事業をすることは想定していないように見えます。

また、館野にある市有地に何億円か使って道の駅を「公設」で作る計画を市は断念していますが、これは正しい判断だと思います。市は公設ではなく民設とすべく、民間事業者を募集しましたが、予想通り誰も手を上げませんでした。残念ですが民間事業者は採算が合わない判断したようで、それも妥当な経営判断であり仕方がない話です。

このように、どのみち財源がないのなら早い時点で、「新規の大型公共事業は基本的にやらない」と計画に盛り込んだ方がいいと思います。

③ごみ処理施設はなぜ新設ではなく改修?

ごみ処理施設は約34年が経過しており、老朽化対策が必須ですが、市の方針では約32億円の大規模改修ありきになっていました。

しかし、この施設はもともと約30億円で建設されています。私は34年も経ったものを改修するより、新しい施設を建てた方が、建設費に加え運営費も安上がりになる可能性が高いと考えます。そのことを主張したら、「改修だけでなく、新設費用の試算もして比較する」との回答がありました。

④急ぐべき三中建替えと将来の中学校再編

4年前に三中は耐震不足が判明し、極力早めに建替えなくてはなりませんが、約30億円もかかり財源の目途がついていません。また、これだけの大規模学校を建替えるわけですから、本来、将来的な館山市における中学校のあり方が定ま

ってからするべきです。例えば、私の考えは1～3中を、3中の1校に統合するというものです。

こうしたことは当然、一部の教育関係者だけで勝手に決めるのではなく、市民の意見を聴いて集約できていないといけません。現在できていないわけです。なお、耐震不足の長期放置は許されず、急いで意見集約を行わなくてはならないはずですが、方針には平成32年度までに決めると悠長なことが書いてあります。

3、平成30年度予算は結局、原案可決

① 予算は必ず原案可決になる

前述の通り極めて財政状況は悪いのですが、今回も市長提出の予算は、3名が反対したのみで、賛成多数により原案通り可決されました。私自身もまだまだ力不足なのですが、予算を良い意味で変えることのできない「議会という組織」としての力不足も同時に感じます。

② 予算に18議員のうち3名が反対した理由

●私は、船形バイパス（約4億6千万）予算を大幅減額すべきと反対。理由は三中建替えなどに財源不足が出ているのにも関わらず、これだけ多額の費用はかけられないから。

予算委員会において、船形バイパス予算の大幅減額を求める議案を提出したが否決されて、予算は原案可決となった。

●A議員（3期目・男性・三中エリアに在住）

具体的には以下3点に反対。

- 1.船形バイパスの約4億6千万円⇒中止すべきと反対。
- 2.生活保護費の減額⇒反対。
- 3.公民館費と図書館運営費の減額⇒反対。

【私の見解】船形バイパスについてはほぼ同感。生活保護費の減額は確かに良くないが、国で決まったことであり、市で反対しても無理な話。公民館費と図書館運営費の減額については今後、悪影響がないか確認したい。

●B議員（1期目・女性・三中エリアに住居）

総論として、市の行財政のあり方に反対。

具体的には以下2点に反対。

- 1.循環型社会形成推進地域計画作成費の3百万円⇒今は不要と反対。ごみ処理施設の「改修」前提の計画であり、新設の場合と費用の比較をしていないから。
- 2.三中建替え基本設計費の3千万円⇒今は不要と反対。中学校再編のあり方を決めてから設計すべき。耐震不足は危険性があるので、三中生を他の学校に通わせるべきではないか。

【私の見解】言わんとすることはわかるが、B議員は行財政改革委員会の副委員長だったので、なぜ自分たちが作った行財政改革方針の内容に反対するのか、その矛盾が理解不能。

また、三中については、緊急性を認識しながらも基本設計に反対する以上、固まった対案を示すべき。「・・・か」という疑問形の意見では無責任。私は三中については何もしないのが最大のリスクと考えるので、基本設計費は計上し、走り出しながら考えるべき。スピード感と決断力が重要。

なお結局、具体的には2点の反対しかなく、本来は合計3

300万円カットの修正案を出すべきだったのに、それをせず、単に予算を丸ごと反対したのは筋が通らない。

③ 反対ありきはやめよう！

私は7年間議員をやってきましたが、特段の問題が見られなかった平成25年度予算に賛成した1回を除いて、一般会計当初予算には6回反対しています。A議員は7回連続で反対しています。やはり、一般会計当初予算は約180億円もあるので、何箇所か反対したくなることを見当たります。

しかしながら、一般会計当初予算が不要ということは絶対にありません。ただ反対するだけでなく、対案を議案として提出する必要を感じ、今回、否決はされましたが私は対案を出しました。今後も極力、対案を出したいと思います。

B議員は過去2回とも賛成して、今回が初めての反対となりました。しかし、今回の反対理由に矛盾を感じます。

もしかしたら、B議員は市長選への出馬を表明しているので、対立することが予想される現市長の予算に対して、選挙戦略上、反対の立場を取らざるを得なかったのかも知れません。とはいえ、この方は現市長の「後援会」総会にも出席しているという矛盾もあり、やはり真意はよくわかりません。

<お知らせ>

「市政報告&意見交換会」を行います。
5月19日（土） 葉の花ホール1F集会室

（北条中央公園と図書館の近く）

時間：14:00～15:30頃

入場無料・予約不要なので当日、お気軽にお越し下さい。質疑応答・意見交換の時間も設けます。市内・市外も政治的立場も関係ありませんので、どなたでもご参加の程をよろしくお願いいたします。

《昨年書いたことが解決した事についてのご報告》

昨年、私の車のナンバープレートが曲げられてしまった件ですが、加害者から謝罪の申し出があり、これを受け、警察・検察に対しての刑事手続きを取り下げました。

これをもって、この事件は全て決着しましたので、前を向いて普段どおりにやって行きたいと思います。

平成29年10月発行のチラシにて書いたことなので、簡単ですが以上で報告とさせていただきます。

石井としひろ 略歴

昭和47年2月26日生まれ。
館山二中、安房高、立教大学法学部卒業。平成23年4月に館山市議会議員に初当選。



<発行者> 石井敏宏

〒294-0038 館山市上真倉320-2

TEL&FAX: 0470-23-7738

携帯: 090-1557-5515

メール ishiitoshihiro1@gmail.com

ブログ <http://ameblo.jp/ishiitoshihiro/>